

# 土木工事共通仕様書（長野県農政部） 新旧対照表

改正後（ <u>R5.10.1</u> 適用）	改正前（ <u>R4.10.1</u> 適用）
<p>全体共通事項 言い回しの変更や、軽微な改定（意味が変わらないもの等）は、本表では省略しています。 改正前後の変更箇所を朱書きしています</p>	

改正後（ <a href="#">R5.10.1適用</a> ）	改正前（ <a href="#">R4.10.1適用</a> ）
<p>第1編 共通編</p> <p>第1章 総則</p> <p>第1節 総則</p> <p>1-1-1 [略]</p> <p>1-1-2 用語の定義</p> <p>1 ~28</p> <p>29 工事写真</p> <p>「工事写真」とは、工事着手前及び工事完成、また、施工管理の手段として各工事の施工段階及び工事完成後目視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を写真管理基準に基づき撮影したものをいう。</p> <p>なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化の<u>一部改定</u>について」（<a href="#">令和3年3月26日</a>付け国技建管第21号）に基づき実施しなければならない。</p> <p>30 ~ 54 [略]</p> <p>1-1-3 ~ 1-1-5 [略]</p> <p>1-1-6 施工計画書</p> <p>1 一般事項</p> <p>(1)~(14) [略]</p> <p><a href="#">(15) 法定休日・所定休日（週休2日の導入）</a></p> <p><a href="#">(16) その他</a></p> <p>1-1-24 建設副産物</p> <p>1 ~ 3 [略]</p> <p>4 受注者は、土砂、砕石又は加熱アスファルト混合物を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員等に提出しなければならない。</p> <p><a href="#">また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</a></p> <p>5 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。</p> <p><a href="#">また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</a></p> <p>6 ~ 7 [略]</p> <p>1-1-25 ~ 1-1-29 [略]</p> <p>1-1-30 工事しゅん工検査</p> <p>1 ~ 3 [略]</p> <p>4 検査内容</p> <p>検査員は、監督員等及び受注者の臨場のうえ、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の</p>	<p>第1編 共通編</p> <p>第1章 総則</p> <p>第1節 総則</p> <p>1-1-1 [略]</p> <p>1-1-2 用語の定義</p> <p>1 ~28</p> <p>29 工事写真</p> <p>「工事写真」とは、工事着手前及び工事完成、また、施工管理の手段として各工事の施工段階及び工事完成後目視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を写真管理基準に基づき撮影したものをいう。</p> <p>なお、デジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」（<a href="#">平成29年1月30日</a>付け国技建管第10号）に基づき実施しなければならない。</p> <p>30 ~ 54 [略]</p> <p>1-1-3 ~ 1-1-5 [略]</p> <p>1-1-6 施工計画書</p> <p>1 一般事項</p> <p>(1)~(14) [略]</p> <p><a href="#">[新設]</a></p> <p><a href="#">(15) その他</a></p> <p>1-1-24 建設副産物</p> <p>1 ~ 3 [略]</p> <p>4 受注者は、土砂、砕石又は加熱アスファルト混合物を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員等に提出しなければならない。</p> <p>5 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。</p> <p>1-1-25 ~ 1-1-29 [略]</p> <p>1-1-30 工事しゅん工検査</p> <p>1 ~ 3 [略]</p> <p>4 検査内容</p> <p>検査員は、監督員等及び受注者の臨場のうえ、工事目的物を対象として契約図書と対比し、次の</p>

改正後（R5.10.1適用）	改正前（R4.10.1適用）
<p>各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえの検査を行う。</p> <p>(2) 工事管理状況について、書類、記録及び写真等を参考にして検査を行う。</p> <p><u>(3) 週休2日の履行状況について、書類、記録等を参考にして検査を行う。</u></p> <p>5 ～ 7 [略]</p> <p>1-1-31 既済部分検査</p> <p>1 ～ 2 [略]</p> <p>3 検査内容</p> <p>検査員は、監督員等及び受注者の臨場の上、工事目的物を対象として工事の出来高に関する資料と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえの検査を行う。</p> <p>(2) 工事管理状況について、書類、記録及び写真等を参考にして検査を行う。</p> <p><u>(3) 週休2日の履行状況について、書類、記録等を参考にして検査を行う。</u></p> <p>4 ～ 8 [略]</p> <p>1-1-32 ～ 1-1-36 [略]</p> <p><u>1-1-37 週休2日の対応</u></p> <p><u>受注者は、週休2日に取り組み、その実施内容を監督員等に報告しなければならない。</u></p> <p><u>なお、週休2日は、月単位で4週8休以上の現場閉所または、技術者及び技能労働者が交代しながら4週8休以上の休日を確保し実施に努めなければならない。</u></p> <p>1-1-38 ～ 1-1-47 [略]</p> <p>1-1-48 法令の遵守</p> <p>1 諸法令の遵守</p> <p>(1)～(7) [略]</p> <p>(8) 雇用保険法 令和4年3月改正 法律第12号)</p> <p>(9)～(11) [略]</p> <p>(12) 建設労働者の雇用の改善等に関する法律 (令和4年3月改正 法律第12号)</p> <p>(13)～(14) [略]</p> <p>(15) 道路交通法 (令和4年4月改正 法律第32号)</p> <p>(16) [略]</p> <p>(17) 道路運送車両法 (令和4年3月改正 法律第44号)</p> <p>(18)～(20) [略]</p> <p>(21) 下水道法 (令和4年5月改正 法律第44号)</p> <p>(22) 航空法 (令和4年6月改正 法律第62号)</p> <p>(23)～(33) [略]</p> <p>(34) 資源の有効な利用の促進に関する法律 (令和4年5月改正 法律第46号)</p> <p>(35)～(36) [略]</p> <p>(37) 電気事業法 (令和4年6月改正 法律第74号)</p> <p>(38)～(41) [略]</p>	<p>各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえの検査を行う。</p> <p>(2) 工事管理状況について、書類、記録及び写真等を参考にして検査を行う。</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>5 ～ 7 [略]</p> <p>1-1-31 既済部分検査</p> <p>1 ～ 2 [略]</p> <p>3 検査内容</p> <p>検査員は、監督員等及び受注者の臨場の上、工事目的物を対象として工事の出来高に関する資料と対比し、次の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえの検査を行う。</p> <p>(2) 工事管理状況について、書類、記録及び写真等を参考にして検査を行う。</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>4 ～ 8 [略]</p> <p>1-1-32 ～ 1-1-36 [略]</p> <p><u>[新設]</u></p> <p>1-1-37 ～ 1-1-46 [略]</p> <p>1-1-47 法令の遵守</p> <p>1 諸法令の遵守</p> <p>(1)～(7) [略]</p> <p>(8) 雇用保険法 令和3年6月改正 法律第58号)</p> <p>(9)～(11) [略]</p> <p>(12) 建設労働者の雇用の改善等に関する法律 (令和2年3月改正 法律第14号)</p> <p>(13)～(14) [略]</p> <p>(15) 道路交通法 (令和2年6月改正 法律第52号)</p> <p>(16) [略]</p> <p>(17) 道路運送車両法 (令和3年5月改正 法律第37号)</p> <p>(18)～(20) [略]</p> <p>(21) 下水道法 (令和3年5月改正 法律第31号)</p> <p>(22) 航空法 (令和3年6月改正 法律第65号)</p> <p>(23)～(33) [略]</p> <p>(34) 資源の有効な利用の促進に関する法律 (平成26年6月改正 法律第69号)</p> <p>(35)～(36) [略]</p> <p>(37) 電気事業法 (令和2年6月改正 法律第49号)</p> <p>(38)～(41) [略]</p>

## 土木工事共通仕様書（長野県農政部） 新旧対照表

改正後（ <a href="#">R5.10.1適用</a> ）	改正前（ <a href="#">R4.10.1適用</a> ）
<p>(42)建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（令和4年5月改正 法律第46号）</p> <p>(43)～(55) [略]</p> <p>(56)職業安定法（令和4年3月改正 法律第12号）</p> <p>(57)～(59) [略]</p> <p>(60)電波法（令和4年3月改正 法律第70号）</p> <p>(61)土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法 （令和4年4月改正 法律第32号）</p> <p>(62)労働保険の保険料の徴収等に関する法律（令和4年4月改正 法律第12号）</p> <p>(63)～(67) [略]</p> <p>(68)個人情報の保護に関する法律（令和4年5月改正 法律第54号）</p> <p>(69) [略]</p> <p>1-1-49 ～ 1-1-57 [略]</p> <p><a href="#">1-1-58 石綿使用の有無</a></p> <p><u>受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿(アスベスト)の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事にあつては「事前調査結果の報告」を所轄労働基準監督局に届出を行わなければならない。また、大気汚染防止法に基づき、特定粉じん発生施設を設置しようとするときは、都道府県知事に届出を行わなければならない。</u></p> <p>1-1-59 ～ 1-1-60 [略]</p>	<p>(42)建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（令和3年5月改正 法律第37号）</p> <p>(43)～(55) [略]</p> <p>(56)職業安定法（令和元年6月改正 法律第37号）</p> <p>(57)～(59) [略]</p> <p>(60)電波法（令和3年3月改正 法律第19号）</p> <p>(61)土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法 （令和2年6月改正 法律第42号）</p> <p>(62)労働保険の保険料の徴収等に関する法律（令和3年6月改正 法律第58号）</p> <p>(63)～(67) [略]</p> <p>(68) <a href="#">行政機関の保有する</a>個人情報の保護に関する法律（令和3年5月改正 法律第37号）</p> <p>(69) [略]</p> <p>1-1-48 ～ 1-1-56 [略]</p> <p><a href="#">[新設]</a></p> <p>1-1-57 ～ 1-1-58 [略]</p>

改正後（ <a href="#">R5.10.1適用</a> ）	改正前（ <a href="#">R4.10.1適用</a> ）
<p>第2章 材料 [略]</p> <p>第1節 ～ 第4節 [略]</p> <p>第5節 鋼材</p> <p>2-5-1 [略]</p> <p>2-5-2 鋼材</p> <p>鋼材は、次の規格に適合したもの、又はこれと同等以上の品質を有するものとする。</p> <p>1～3 [略]</p> <p>4 鋳鉄品、鋳鋼品及び鍛鋼品</p> <p>(1)～(9) [略]</p> <p>(10)JIS G 5526(ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1～<a href="#">4</a>、DS、DPF</p> <p>(11)JIS G 5527(ダクタイル鋳鉄異形管) 記号 DF</p> <p>(12)JDPA G 1027(農業用水用ダクタイル鋳鉄管) 記号 DA～DD</p> <p>(13)JDPA G 1029(推進工法用ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1～D5、DPF</p> <p>(14)JDPA G 1042(NS形ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1、D2、DS</p> <p>(15)JDPA G 1046(PN形ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1～D4</p> <p><a href="#">(16)JDPA G 1053-2020(ALW形ダクタイル鋳鉄管) 記号 AL1、AL2、AW</a></p> <p>2-5-3 ～ 2-5-5 [略]</p> <p>2-5-6 鉄線じゃかご</p> <p>鉄線じゃかごの規格及び品質は、以下の規格に準ずるものとする。亜鉛アルミニウム合金めっき鉄線を使用する場合は、アルミニウム含有率10%、めっき<a href="#">膜厚42μm</a>以上のめっき鉄線を使用するものとする。</p> <p>(1)JIS A 5513(じゃかご)</p> <p>2-5-7 [略]</p> <p>第6節 ～ 第8節 [略]</p> <p>第9節 合成樹脂製品等</p> <p>2-9-1 一般事項</p> <p>1 合成樹脂によるパイプ等の製品は、次の規格に適合したもの、又はこれと同等以上の品質を有するものとする。</p> <p>(1)～(8) [略]</p> <p>(9)JIS A 5350(強化プラスチック複合管)</p> <p>(10)～(11) [略]</p> <p>(12)FRPM K 111(強化プラスチック複合管)</p> <p><a href="#">(13)FRPM K 111L(強化プラスチック複合管内挿用内圧管)</a></p>	<p>第2章 材料 [略]</p> <p>第1節 ～ 第4節 [略]</p> <p>第5節 鋼材</p> <p>2-5-1 [略]</p> <p>2-5-2 鋼材</p> <p>鋼材は、次の規格に適合したもの、又はこれと同等以上の品質を有するものとする。</p> <p>1～3 [略]</p> <p>4 鋳鉄品、鋳鋼品及び鍛鋼品</p> <p>(10)JIS G 5526(ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1～<a href="#">4.5</a>、DS、DPF</p> <p>(1)～(9) [略]</p> <p>(11)JIS G 5527(ダクタイル鋳鉄異形管) 記号 DF</p> <p>(12)JDPA G 1027(農業用水用ダクタイル鋳鉄管) 記号 DA～DD</p> <p>(13)JDPA G 1029(推進工法用ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1～D5、DPF</p> <p>(14)JDPA G 1042(NS形ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1、D2、DS</p> <p>(15)JDPA G 1046(PN形ダクタイル鋳鉄管) 記号 D1～D4</p> <p><a href="#">[新設]</a></p> <p>2-5-3 ～ 2-5-5 [略]</p> <p>2-5-6 鉄線じゃかご</p> <p>鉄線じゃかごの規格及び品質は、以下の規格に準ずるものとする。亜鉛アルミニウム合金めっき鉄線を使用する場合は、アルミニウム含有率10%、めっき<a href="#">付着量300g/m<sup>2</sup></a>以上のめっき鉄線を使用するものとする。</p> <p>(1)JIS A 5513(じゃかご)</p> <p>2-5-7 [略]</p> <p>第6節 ～ 第8節 [略]</p> <p>第9節 合成樹脂製品等</p> <p>2-9-1 一般事項</p> <p>1 合成樹脂によるパイプ等の製品は、次の規格に適合したもの、又はこれと同等以上の品質を有するものとする。</p> <p>(1)～(8) [略]</p> <p>(9)JIS A 5350(強化プラスチック複合管)</p> <p>(10)～(11) [略]</p> <p>(12)FRPM K 111(強化プラスチック複合管)</p> <p><a href="#">[新設]</a></p>

改正後（ <a href="#">R5.10.1適用</a> ）	改正前（ <a href="#">R4.10.1適用</a> ）
<p>第10節～第11節 [略]</p> <p>第12節 塗料</p> <p>2-12-1～2-12-3 [略]</p> <p>2-12-4 ダクタイル鋳鉄管</p> <p>1 直管部</p> <p>内面 JIS A 5314(ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング) JIS G 5528(エポキシ樹脂粉体塗料) JWWA K 135(液状エポキシ樹脂塗料) JWWA K 137(無溶剤形エポキシ樹脂塗料)</p> <p>外面 JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 113(水道用ダクタイル鋳鉄管)</p> <p>2 異形管部</p> <p>内面 JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄異形管) <a href="#">JIS G 5528(エポキシ樹脂粉体塗料)</a> <a href="#">JWWA K 135(液状エポキシ樹脂塗料)</a> <a href="#">JWWA K 137(無溶剤形エポキシ樹脂塗料)</a></p> <p>外面 JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄異形管)</p> <p>3 継手部</p> <p>JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄異形管) <a href="#">JIS G 5528(エポキシ樹脂粉体塗料)</a> <a href="#">JWWA K 135(液状エポキシ樹脂塗料)</a> <a href="#">JWWA K 137(無溶剤形エポキシ樹脂塗料)</a></p> <p>第3章 施工共通事項</p> <p>第1節～第11節 [略]</p> <p>第12節 安全施設工</p> <p>3-12-1 [略]</p> <p>3-12-2 安全施設工</p>	<p>第10節～第11節 [略]</p> <p>第12節 塗料</p> <p>2-12-1～2-12-3 [略]</p> <p>2-12-4 ダクタイル鋳鉄管</p> <p>1 直管部</p> <p>内面 JIS A 5314(ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング) [新設] [新設] [新設]</p> <p>外面 JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄管)</p> <p>2 異形管部</p> <p>内面 JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄異形管) [新設] [新設] [新設]</p> <p>外面 JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄異形管)</p> <p>3 継手部</p> <p>JWWA K 139(水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料) JDPA Z 2010(ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装) JWWA G 114(水道用ダクタイル鋳鉄異形管) [新設] [新設] [新設]</p> <p>第3章 施工共通事項</p> <p>第1節～第11節 [略]</p> <p>第12節 安全施設工</p> <p>3-12-1 [略]</p> <p>3-12-2 安全施設工</p>

改正後（R5.10.1適用）	改正前（R4.10.1適用）																																								
<p>1～8 [略]</p> <p>9 受注者は、ネットフェンス設置に当たり、胴材、胴縁、金具、網材の溶融亜鉛めっき仕様等が設計図書に示されていない場合、表 3-12-1 溶融亜鉛めっき等の仕様</p> <p style="text-align: center;">表 3-12-1 溶融亜鉛めっき等の仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">塗装仕様</th> <th style="text-align: center;">柱材、胴縁</th> <th style="text-align: center;">金具</th> <th style="text-align: center;">網線材径 mm</th> <th style="text-align: center;">網目 mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">溶融亜鉛めっき</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>T56</del>-<del>56</del>μm</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>T49</del></td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">塩ビ被覆</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>T56</del>-<del>56</del>μm</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>T49</del></td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">めっき着色塗装</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>T56</del>-<del>56</del>μm</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>T49</del></td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> </tbody> </table> <p>第13節～第21節 [略]</p> <p>第2編 工事別編</p> <p>第1章 ほ場整備工事 第1節～第7節 [略]</p> <p>第2章 農用地造成工事 第1節～第9節 [略]</p> <p>第3章 舗装工事、道路改良工事 第1節～第13節 [略]</p> <p>第14節 付帯施設工 3-14-1～3-14-2 [略] 3-14-3 標識工 1～2 [略] 3 標識工 (1) [略] ア～タ [略] チ 受注者は、支柱用鋼管及び取付鋼板などに溶融亜鉛めっきする場合、その膜厚をJIS H 8641(溶融亜鉛めっき)2種の(HDZ <del>T77</del>)77μm(片面の膜厚)以上としなければならない。ただし、厚さ3.2mm以上、6mm未満の鋼材については2種(HDZ <del>T63</del>)<del>63</del>μm以上、厚さ3.2mm未満の鋼材については2種(HDZ <del>T49</del>)<del>49</del>μm(片面の膜厚)以上とするものとする。 ツ～ナ [略] (2)・(3) [略] 3-14-4～3-14-7 [略]</p>	塗装仕様	柱材、胴縁	金具	網線材径 mm	網目 mm	溶融亜鉛めっき	HDZ <del>T56</del> - <del>56</del> μm	HDZ <del>T49</del>	3.2	56	塩ビ被覆	HDZ <del>T56</del> - <del>56</del> μm	HDZ <del>T49</del>	3.2	50	めっき着色塗装	HDZ <del>T56</del> - <del>56</del> μm	HDZ <del>T49</del>	3.2	56	<p>1～8 [略]</p> <p>9 受注者は、ネットフェンス設置に当たり、胴材、胴縁、金具、網材の溶融亜鉛めっき仕様等が設計図書に示されていない場合、表 3-12-1 溶融亜鉛めっき等の仕様</p> <p style="text-align: center;">表 3-12-1 溶融亜鉛めっき等の仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">塗装仕様</th> <th style="text-align: center;">柱材、胴縁</th> <th style="text-align: center;">金具</th> <th style="text-align: center;">網線材径 mm</th> <th style="text-align: center;">網目 mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">溶融亜鉛めっき</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>40</del>-<del>400</del>g/m<sup>2</sup></td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>35</del></td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">塩ビ被覆</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>40</del>-<del>400</del>g/m<sup>2</sup></td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>35</del></td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">めっき着色塗装</td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>40</del>-<del>400</del>g/m<sup>2</sup></td> <td style="text-align: center;">HDZ <del>35</del></td> <td style="text-align: center;">3.2</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> </tbody> </table> <p>第13節～第21節 [略]</p> <p>第2編 工事別編</p> <p>第1章 ほ場整備工事 第1節～第7節 [略]</p> <p>第2章 農用地造成工事 第1節～第9節 [略]</p> <p>第3章 舗装工事、道路改良工事 第1節～第13節 [略]</p> <p>第14節 付帯施設工 3-14-1～3-14-2 [略] 3-14-3 標識工 1～2 [略] 3 標識工 (1) [略] ア～タ [略] チ 受注者は、支柱用鋼管及び取付鋼板などに溶融亜鉛めっきする場合、その付着量をJIS H 8641(溶融亜鉛めっき)2種の(HDZ <del>55</del>)550g/m<sup>2</sup>(片面の付着量)以上としなければならない。ただし、厚さ3.2mm以上、6mm未満の鋼材については2種(HDZ <del>45</del>)<del>450</del>g/m<sup>2</sup>以上、厚さ3.2mm未満の鋼材については2種(HDZ <del>35</del>)<del>350</del>g/m<sup>2</sup>(片面の付着量)以上とするものとする。 ツ～ナ [略] (2)・(3) [略] 3-14-4～3-14-7 [略]</p>	塗装仕様	柱材、胴縁	金具	網線材径 mm	網目 mm	溶融亜鉛めっき	HDZ <del>40</del> - <del>400</del> g/m <sup>2</sup>	HDZ <del>35</del>	3.2	56	塩ビ被覆	HDZ <del>40</del> - <del>400</del> g/m <sup>2</sup>	HDZ <del>35</del>	3.2	50	めっき着色塗装	HDZ <del>40</del> - <del>400</del> g/m <sup>2</sup>	HDZ <del>35</del>	3.2	56
塗装仕様	柱材、胴縁	金具	網線材径 mm	網目 mm																																					
溶融亜鉛めっき	HDZ <del>T56</del> - <del>56</del> μm	HDZ <del>T49</del>	3.2	56																																					
塩ビ被覆	HDZ <del>T56</del> - <del>56</del> μm	HDZ <del>T49</del>	3.2	50																																					
めっき着色塗装	HDZ <del>T56</del> - <del>56</del> μm	HDZ <del>T49</del>	3.2	56																																					
塗装仕様	柱材、胴縁	金具	網線材径 mm	網目 mm																																					
溶融亜鉛めっき	HDZ <del>40</del> - <del>400</del> g/m <sup>2</sup>	HDZ <del>35</del>	3.2	56																																					
塩ビ被覆	HDZ <del>40</del> - <del>400</del> g/m <sup>2</sup>	HDZ <del>35</del>	3.2	50																																					
めっき着色塗装	HDZ <del>40</del> - <del>400</del> g/m <sup>2</sup>	HDZ <del>35</del>	3.2	56																																					

改正後（ <u>R5.10.1</u> 適用）	改正前（ <u>R4.10.1</u> 適用）
<p>第4章 水路トンネル工事 第1節 ～ 第8節 [略]</p> <p>第5章 水路工事 第1節 ～ 第15 節 [略]</p> <p>第6章 排水路工事、河川工事 第1節 ～ 第15 節 [略]</p> <p>第7章 管水路工事 第1節 ～ 第5節 [略] 第6節 管体工 7-6-1 ～ 7-6-4 [略] 7-6-5 弁設置工 1 ～ 3 [略] 4 受注者は、ボルトの締付けについて、本章7-6-2強化プラスチック複合管布設工2鋼製異形管(2)の規程によるものとする。 5 [略]</p> <p>第7節 ～ 第18 節 [略]</p> <p>第8章～第20 章 [略]</p>	<p>第4章 水路トンネル工事 第1節 ～ 第8節 [略]</p> <p>第5章 水路工事 第1節 ～ 第15 節 [略]</p> <p>第6章 排水路工事、河川工事 第1節 ～ 第15 節 [略]</p> <p>第7章 管水路工事 第1節 ～ 第5節 [略] 第6節 管体工 7-6-1 ～ 7-6-4 [略] 7-6-5 弁設置工 1 ～ 3 [略] 4 受注者は、ボルトの締付けについて、本章7-6-2強化プラスチック複合管布設工2鋼製異形管(2)の規程によるものとする。 5 [略]</p> <p>第7節 ～ 第18 節 [略]</p> <p>第8章～第20 章 [略]</p>